

On-Demand Seminar 3 (OS-3)

Sponsored by Integrated DNA Technologies KK

CRISPR を用いたラージノックイン効率の改良および製品アップデート

○小島 広樹¹

¹Integrated DNA Technologies KK

CRISPR の技術を基にした HDR（ノックイン）は、特定の変異を目的の配列に組み込むのに非常に有用なツールであり、分子生物学研究で重要度が非常に増えています。

HDR 効率を改善するメソッドは数多く公開されていますが、高い HDR 効率を保持したまま正確に変異を組み込むことは難しく、特にラージスケールのノックインを行うことは非常に困難でした。

今回のウェビナーでは、IDT が独自開発した新しい二本鎖ドナーテンプレート「Alt-R™ HDR Donor Blocks」を中心としたノックインソリューションが、HDR 効率の改善に寄与することをご紹介します。

また、蛍光 Cas9 などの新製品や、on/off ターゲット解析のためのツール「rhAmpSeq™ CRISPR NGS 解析システム」についてもご紹介させていただきます。